

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助実習指導Ⅲ				選択	2	4	前期、後期 （集中）
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
梅沢 佳裕 他		B310		y.umezawa		水曜日 12:10～13:00	
授業の目的・概要		＜目的＞相談援助実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ＜概要＞実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成を通して、スペシフィックな実習体験や援助活動を、ジェネリックな専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てる。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通じて理解を深める。					
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)		☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ 反転授業 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ その他（個別演習）	☒ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		実習内容について自己評価をもとにフィードバックを行い、実習報告書の作成、並びに実習報告会に向けての準備をすすめるため、各自が取り組んだ実習内容について改めて記録物をもとに整理しておくとうい。					
教科書		ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習/監修：日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター/中央法規出版。学外実習の手引き（学内発行）。					
参考書		特になし。					
外部教材							
学生が達成すべき行動目標						関連卒業認定・学位授与方針	
①	相談援助実習を通じた体験的学びを生かし、実習報告書を作成することができる。					HSU(1)、HSU(2)、WP(1)、WP(2)	
②	実習報告会におけるプレゼン発表のためのレジュメ・資料を作成することができる。					WP(1)、WP(2)、WP(6)	
③	ソーシャルワークの知識・技術・価値について実習報告書をもとに実習報告を行う。					WP(1)、WP(2)、WP(6)	
④							
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等				授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	オリエンテーション（指導の進め方、評価についての説明）実習後指導の意義について学ぶ。				講義	学外実習の手引、実習日誌を熟読する。	4
2	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りを行う。				講義	実習評価表の項目チェックを行う。	4
3	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りに対する個別指導①を行う。				講義	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4
4	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りに対する個別指導②行う。				講義	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4
5	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りに対する個別指導③行う。				講義	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4
6	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括の報告書の作成指導を行う。				講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
7	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括の報告書の作成指導を行う。				講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
8	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括の報告書の作成指導を行う。				講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
9	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括の報告書の作成指導を行う。				講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
10	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括の報告書の作成指導を行う。				講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
11	実習の評価全体総括会としての報告会①を行う。				発表	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
12	実習の評価全体総括会としての報告会②を行う。				発表	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
13	実習の評価全体総括会としての報告会③を行う。				発表	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
14	実習の評価全体総括会としての報告会④を行う。				発表	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4
15	今後の課題についてのまとめについて取り組む。				講義	教科書を熟読する。	4
試							

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合（％）		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	5	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	40	40
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	指導に対する取り組み状況、報告書、報告会資料、報告会における達成度等によって評価する。				個別にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		渡邊隆文					
教員の実務経験		梅沢佳裕：ソーシャルワーカーとして7年の実務経験。渡邊隆文：社会福祉士取得後6年の実務経験					
実践的授業の内容		教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。					
そ の 他		本講の後期（集中）は、相談援助実習を前期（集中）で履修した学生のみ履修できる。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 全15回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。 その場合、授業は欠席として取り扱う。					